

地 図

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書◆	地図 303	A4 102	令和5年
46	帝国書院	帝 国◆	地図 304	A4 132	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

地図

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
2冊	東書、帝国

2 東京都立立川国際中等教育学校附属小学校の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

「次代を担う児童・生徒一人一人の資質や能力を最大限に伸ばさせるとともに、豊かな国際感覚を養い、世界で活躍し貢献できる人間を育成する。」という教育理念を踏まえ、小学校から中等教育学校までの12年間を一体として捉え、児童・生徒の発達等に応じて柔軟な教育課程を編成する。

【社会における学習指導の展開】

- (1) 地理的環境や現代社会の仕組みや働き、歴史や伝統と文化をとおして社会生活について理解し、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けることができるように指導する。
- (2) 探究的な学びや体験的な学習をとおして、社会に見られる課題を把握し、社会への関わり方について考えたことを適切に表現できるように指導する。
- (3) 地域社会の一員としての自覚や、世界の国々の人々と協働する意識をもち、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を育む。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目(調査研究の対象)	対象の根拠
a 問いや活動を表した吹き出しの扱い	都立小中高一貫教育校教育内容等検討委員会報告書 第2章 令和5年度都立立川国際中等教育学校附属小学校教育課程に係る基本方針
b 表やグラフの扱い	同上
c 日本の伝統文化に関する内容の扱い	同上

※調査研究項目を設定した理由

- a 「令和5年度都立立川国際中等教育学校附属小学校教育課程に係る基本方針」（以下、「基本方針」という。）では、「1（2）教育方針」の一つとして「自ら課題を認識し、論理的に考え、判断し、行動できる力を育てる。」としている。そのため、児童が自ら調べ、考えられる問いや活動を表した吹き出しがどのように扱われているかという視点で質的な調査をする。
- b 社会における学習指導の展開(1)では、「情報を適切に調べまとめる技能を身に付けることができるように指導する。」としている。具体的には、「社会的事象について調べまとめる技能」として、情報を収集する技能、情報を読み取る技能、情報をまとめる技能などが示されており、資料の特性等に応じた指導を繰り返し行うことで、児童が身に付けるようにしていくことが大切である。地図帳をその特性等に応じて活用するに当たっては、地図だけでなく、目的別資料図や写真・統計資料等の資料を活用することも重要である。そのため、表やグラフがどのように扱われているかという視点で質的な調査をする。
- c 「基本方針」の「1（2）教育方針」の一つとして、「日本の伝統・文化を理解し尊重するとともに、多様な価値観を受容し、主体的に国際社会に参画する力を育てる。」としている。グローバル化する国際社会に主体的に生きる資質・能力の基礎を育成するために必要な、我が国の伝統と文化への関心や理解を深め、継承・発展させる態度を身に付けさせるために、我が国の伝統と文化がどのように扱われているかという視点で質的な調査をする。

「別紙」【内容 調査研究】 都立立川国際中等教育学校附属小学校 地図

発行者の番号 略 称		2 東書	46 帝国
内 容	a 問いや活動を表した吹き出しの扱い	・吹き出し等で地図の活用の手がかりを示すキャラクターを配置している。また、「日本海側の冬と太平洋側の冬とは、どのようなちがいがあるのか考えよう。」や、「この食材はどこの国から来たものか、この地図から探してみよう。」といった作業に取り組み、地図への関心や、地図を読む力が高まるように、「ホップステップマップでジャンプ」のコーナーが70問設定している。さらに、「空からまちをしてみよう」や、「地図のきまり」などを扱い、会話形式の解説や問いを設定している。	・地図を見る視点を示唆したり、活用を促したりするキャラクターを配置している。また、地図に対する興味・関心をひきつけ、地図活用技能や、知識が身に付けられるように「地図マスターへの道」のコーナーを100問設けている。自学自習で、地図活用の技能や、社会科の知識を身に付けられるように、取り組みを記録できる「地図マスターへの道にちょうせんしよう！」では、まとめのページを設けている。さらに、「地図のやくそく」「地図帳の使い方」などを扱い、会話形式の解説と、「トライ！」による問いを設定している。
	b 表やグラフの扱い	・自然、産業、貿易、自然災害などのテーマの資料図・統計を掲載している。また、「日本の自然」では、気候に関する資料地図を冬夏、それぞれの気温と降水量に分け、見比べやすいように同じ縮尺で掲載している。模式図や衛星写真、雨温図と合わせることで、日本の気候の特色を考えることができる。日本の気候の特色は、「日本の自然災害」の主題図と合わせて防災学習に使うことができる。	・自然、産業、貿易、自然災害などのテーマの資料図・統計を掲載している。また、各見開きには学習テーマに沿った地図を配置し、周りの資料や写真と関連付けて学習できるようにしている。さらに、「日本と世界の結びつき」では、「日本を訪れる外国人と外国を訪れる日本人の数」や、「日本で暮らす外国人の出身地」等のグラフと合わせることで、特色を考えることができる。
	c 日本の伝統文化に関する内容の扱い	・「日本の47都道府県」では、祭りや文学、工芸品、歴史や建造物で各都道府県からイメージされるイラストを掲載している。また、「日本の伝統文化 歴史的景観、祭り、食文化」では、世界遺産や重要伝統的建造物群保存地区、世界農業遺産・日本農業遺産を写真で示し、各地の祭りを挿絵で掲載している。日本の食文化では、「特色ある郷土料理とぞうに」について掲載している。	・各地で守り伝えられてきた祭り、伝統行事、伝統的工芸品、歴史的建造物、自然などをイラストや絵記号で掲載している。また、日本の世界遺産を取り上げたページでは、写真を掲載している。さらに、地図中の歴史地名や世界遺産をそれぞれ青色と緑色の反転文字で示すとともに、日本の昔の境界とおもなできごととも歴史地名と地図帳で参照ページを示している。